QSK 福精連

公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会
〒812-0046
福岡県福岡市博多区吉塚本町１３－５０
電話092-292-0560　ＦＡＸ092-292-0561
e-mail:fksr1974@fukuseiren.com
ホームページ　http://www.fukuseiren.com/

Ｎｏ．１１１　令和４年１０月１日

２年ぶり 福精連大会（9月9日）

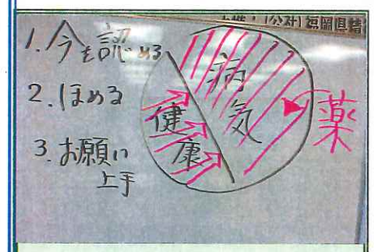
9月9日午後1時より春日クローバプラザで第5回福精連大会が開催され、ZOOMも含め家族・支援者など85名が参加しました。

隅谷理事の司会で進行し、福田副会長が開会挨拶。一木会長が主催者挨拶を行いました。来賓として、県障がい福祉課の宿　参事からご挨拶をいただきました。

高森信子先生は「家族と支援者も元気になれる上手な対処法」と題して講演。最初に、講演に参加されたお二人の家族の経験、お手紙を紹介しながら、当事者との葛藤や気持ちや対応の変化に触れ、「大事なことはまず聴くこと。本人の気持ち、今の現状を認めて受け止めること」「（本人を変えるのではなく）親が変われば子も変わる」「寄り添うこと、思いやること、育てなおし」など、大事なキーワードが次々と飛び出しました。

また、「心の病は愛で癒す、愛があれば奇跡が起きる！心を打つ17話」冊子から、オープンダイアローグや、家族でもある糸川先生、夏苅先生などの言葉を引用されました。

高森先生の講演に元気をもらう　「心の病は愛で癒す」



講演レジメ「ご家族の方へ」より抜粋して紹介します。

①あなたは私にとって大切な人、宝物だと伝えましょう。
②期待のラインで物言いするのではなく、相手の目線に合わせて現在位置の確認をしましょう。それは「今のあなたを受け入れる、認める」ということです。
③②で見つけた出来ることはそれを言葉にして伝えましょう（ほめる、感謝する）
④寂しいけど子離れする自分を育てましょう。
⑤良いコミュニケーションとは相手の気持ちがわかり、そして自分の気持ちも言えて、より生産的な関係になること。先ずは相手の気持ちのわかる人になりましょう。

後半では、中村ユキさんの漫画から、（助言、忠告、指導でなく）、「病」を雨に例えるなら「私は傘をさしかけてくれるだけでなく、ともに濡れて欲しいのです」。

相手の気持ちをわかるためのポイント。①関心表明、②反復確認「の」の字の哲学。③話が具体的になるための質問、④共感のことば、⑤自分の考え。「お願い上手」「お断り上手」のコツなど、具体的にわかりやすい言葉で話され時間が足りないほどでした。

質疑では、暴力への対応法について中井久夫先生の言葉を引用されながら実演も。SSTリーダーの高森信子先生は2016年に福精連研修会でお招きして以来。今日初めてお目にかかる参加者も多く、年齢を感じさせないバイタルティあふれるお話の数々に元気をもらえたとの感想が寄せられました。

先生は講演終了後もぎりぎりまで家族の相談にのられアドバイスされました。

第2部では、みんなねっとの「精神医療福祉の提言」について、小幡事務局長がZOOMで講演。「誰もが安心してかかりたいと思える精神科医療、安心して暮らせる地域精神保健福祉の実現」について丁寧に説明されました。

長期的展望に立ちめざすこととして、「入院中心から地域医療に転換し、地域で安心して暮らせる体制へ」

①人口5万人を目安にメンタルヘルスに責任を持つセンターを設置。危機介入チームなど24時間365日の訪問支援体制など。
②強制的な入院の在り方を問い、医療保護入院の廃止と家族依存のからの脱却。③家族などケアラー支援法の制定。
④人権擁護のための強力な公的機関の整備。など、「精神疾患、障がいがあっても安心な社会」を強調されました。

小幡さんは、8月下旬にスイスで開催された国連障害者権利条約に基づく初の日本審査にみんなねっととして代表派遣され奮闘されました。

福精連理事　白石雄二

月間「みんなねっと誌」を購読しませんか？

賛助会費（購読料を含む）
個人　年間３、６００円
※団体は一部還元があるのでお問い合わせを

郵便振込先
加入者名　みんなねっと
口座番号　００１３０-０-３３８３１７
電話番号　０３-６９０７-９２１１

賛助会員加入のお願い

令和4年度の賛助会員の募集を行います。皆様のご協力よろしくお願い致します。

年会費：個人　3,000円
　　団体　10,000円

郵便局振込先
加入名：（公社）福精連
口座番：01760-7-84332

※よからぼへの寄付金も同口座です
「よからぼ寄付金」とご記入ください

家族のための相談電話

【相談時間】13時～16時

・月曜日　090（1366）7498
・火曜日　080（2750）0646
・水曜日　080（3986）1980
（第4水曜日は0940（33）2731）

・木曜日　080（3986）1980
・金曜日　080（1729）1955
・土・日曜日・祝日　9時～16時
　080（1729）1955

一人で抱えずお電話ください

行事案内

【みんなねっと全国大会】
令和4年10月13-14日（木-金）
ZOOM（広島）

【理事会・拡大会議】
令和4年10月20日（木）
会場：吉塚合同庁舎5F

【みんなねっと九州ブロック大会】
令和4年11月17-18日（木-金）
会場・ZOOM（別府）

【運営委員会】
令和4年11月25日（金）
会場：吉塚合同庁舎5F

【精神保健福祉センター研修会】
令和4年12月1日（木）14時
会場：精神保健福祉センター研修室

※新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて延期・中止の可能性がございます。

令和4年度　賛助会員のみなさま

〈団体会員〉
・島手そうめん販売㈱
・パナソニック松九会
・（一社）Q-ACT
・㈱ちくしの郷・匠
・寿防災工業㈱
・医療法人冨松記念会　三池病院
・医療法人同仁会　乙金病院
・こころこころクリニック
・福岡浦添クリニック
・医療法人信和会　大牟田保養院
・油山病院　家族会　あけぼの会
下記へつづく

令和4年度　賛助会員つづき

・（一社）福岡県障がい者スポーツ協会
・医療法人みらい　筑紫野病院
・医療法人成康会　堤小倉病院
・総合福祉支援団体ゆいまーる
・医療法人社団桜珠会　可也病院
・医療法人　陽山会　丸野クリニック
・地域活動支援センターサンサンはかた
・医療法人社団松和会　門司松ヶ江病院
・医療法人　要会　かなめクリニック
・（一社）ちはやＡＣＴ
・医療法人こぶしメンタルクリニック
・福岡あけぼの会後援会　福岡保養院
・医療法人　緑心会　光風会　宗像病院
・医療法人一木こどもクリニック

〈個人会員〉
・一木　猛　本田　俊慧
・上畠　茂幸　松本　國寛
・白石　雄二　中里　真一
・佐々木　寿美　川口　千利
・井上　純治　松岡　千代
・山本　由美　富田　義之
・平川　ミドリ　馬場　由紀子
・福田　清隆　戸田　俊彦
・樋口　靖則　阿部　利民
・義郎　野澤　重信
・金子　照道　坂栗さつき
・徳久　恭子　宮本　政智
・田原　菅野　康子
・大平　実男　川本　茂子
・立山　利博　土肥　浩
・石河　定子　斉藤　光子
・鈴木　久子　國房　稔代
・竹原　聡　津村　美沙
・木原　享　福島　秀司
・隅谷　和生　鈴木　久子
・判田　章江
（敬称略・順不同）（令和4年9月26日）

・六反　敏裕　田川　誠二　廣津　輝男　永末　雄大　松本　國寛　神谷　真幸　蔦　忠之　楢橋　恭一　石田　健治　西　伸好　平山　一雄　内原　守　小野　雄史　井上　暁子　伊原　加津代　大野　葵　篠原　雅子　原　久美　乙村　未沙貴

みなさまのご協力に心より感謝申し上げます

【編集】公益社団法人　福岡県精神保健福祉会連合会　〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50　６Ｆ
【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会　〒812-0068　福岡市東区社領１丁目12番４号
【年会費】3,000円（購読料含む）定価100円

この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。

障害者権利条約

日本の「障害者権利条約」の取組に対する国連の審査が8月22・23日スイスのジュネーブにて初めて行われました。

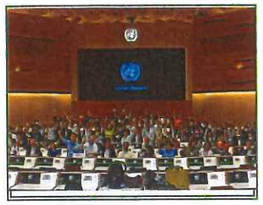
Q：障害者権利条約とは？

障害者権利条約とは、障害者差別を禁止し、健常者と同じ権利を守る為に国がすべきことを定めたものです。障害者権利条約は障害者の人権や基本的自由を守るための国際的な約束であり、条約を批准した国にはその約束を守ることが求められています。

条約は憲法よりは下位に位置しますが、法律よりは上位に位置するものです。そのため、条約の批准国である日本の法律は、障害者権利条約の内容に即したものであることが求められています。しかし、実際には障害者権利条約が求める水準に十分達しているとはいえない法制度が多くあり、その改善が大きな課題となっています。

Q：障害者権利条約はどうやってできたの？

条約は通常、国同士の話し合いで作られますが、障害者権利条約では国のみならず障害者団体も一緒に議論に参加し、条約を作りました。2006年に国連で障害者権利条約が採択され、日本は2014年に批准しました。



Q：ジュネーブに何をしにいったの？

国連は条約の内容をきちんと守っているか定期的にチェックします。国とその国の障害者団体をはじめとする市民社会団体が提出した報告書をもとに、国連におかれた障害者権利委員会（以下、権利委員会）による条約の実施状況についての審査（建設的対話）が8月22日と23日の2日間にわたって行われました。

この建設的対話を通じて権利委員会から国に対し、法制度の改善を促す有効な勧告を出してもらう為、障害者団体も100名程渡航し、権利委員会に日本の法制度の問題点をアピールしてきました。みんなねっと事務局長の小幡氏も現地へ行かれました。

Q：審査（建設的対話）ではどのようなことが話し合われたの？

2日間の審査の中で、権利委員からは差別解消法における救済の仕組み、脱施設、インクルーシブ教育など多くの課題について厳しい質問が相次ぎましたが、それに対する政府の回答はいずれも現状の制度説明や検討会報告書の説明に留まるもので、残念ながらどう改善を図っていくかという真摯な回答はありませんでした。

Q：これからどうなっていくの？

9月9日に、権利委員会から日本における条約の実施状況に関する評価として、日本政府へ勧告（総括所見）が出されました。

分離教育の中止、精神科への強制入院を可能にしている法律の廃止を求めるなど、日本の課題を的確に指摘したものです。合計で、懸念93項目、勧告は92項目、留意1項目、奨励1項目となっています。

全体を通じて、多数の項目で日本政府に対し障害者団体との緊密な協議を求めています。**「Nothing about us. without us（私たち抜きに私たちのことを決めないで）」**という合言葉の下に策定された権利条約の根幹とも言える理念が総括所見にも反映されています。

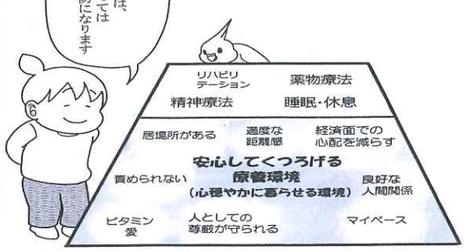
なお、権利委員会は日本政府に対し、次回は2028年2月20日までに定期報告の提出を求めています。報告には、今回の勧告が国内でどのように実施されたかという情報も含めるように要請しています。

権利委員会から出された勧告によって法制度の改善が進む事を願っています。

10月20日（木）
拡大会議にて事業所部会より障害者権利条約について報告頂きます。

会場・オンライン併用で準備しますので、是非ご参加ください。

10月10日は世界メンタルヘルスデー
～つながる、どこでも、だれにでも～



参考文献：「マンガでわかる！統合失調症」中村ユキ著、監修 福田正人、当事者のみなさん
「マンガでわかる！統合失調症（家族の対応編）」マンガ・構成 中村ユキ、原案・監修 高森信子
「急性期治療を再考する」～あたりまえの医療って！？まきび病院を訪ねて～ 中村ユキ
（すべて日本評論社より刊行）

みんなねっと 九州ブロック大会 IN大分

「つながって、支えあい、広げよう、笑顔と元気」

11月17日（木）13時～16時
11月18日（金）10時～12時
会場：大分県別府市　豊泉荘
オンラインとの併用
参加費：一般・家族1000円
当事者・学生500円

申込用紙が必要な方は福精連までご連絡ください。

みんなねっと全国大会 IN広島

「愛と自立を語ろう」

~~11月17日~~（木）13時～16時
~~11月18日~~（金）10月13・14日
（後日アーカイブ配信）
会　場：JMSアステールプラザ
参加費：一般・家族3,000円
当事者・学生1,000円

開催案内・申込サイト
https:/hirokaren.org/01/

第二回家族職員研修会
テーマ「傾聴・対話・オープンダイアローグ」

8月9日（火）吉塚合同庁舎においてオンライン併用の研修会が開催されました。会場参加24名、ZOOM参加26名の計50名の参加がありました。

講師の本山智敬さんは福岡大学の准教授であり、「福岡いのちの電話教育委員スーパーバイザー」をされており、多くの「こころの電話」相談員や家族相談員が参会し講演を心の糧として共有しました。

◎傾聴（共感的理解）について

相談者の思いを知るにはその思いを共有することが必要。相談員の体験からくる異なったイメージでアドバイスを先行しないよう気を付ける。相談者は伝え返しの対話の中で質問と確認をする事で、自己修正できるようになるので、アドバイスよりも「私はちゃんと話を聴けていますか？」という質問と確認が大切。

「相互共感」という視点を持つこと。共感は相談員が一方的に行うものではない。正確に共感できていなくても、やり取りの中で修正していけばいい。

◎オープンダイアローグについて

トルニオという2万2千人規模の市にあるケロプダス病院で始まったアプローチ、市民参加の地域精神科医療システム。病院スタッフが地域に入り、本人・家族・地域の支援者達含め全て平等に対話する。そこには多様な対話を重ねていく不確かさに耐える人間観と哲学が存在し、内省的で職業や他者評価に依らないフィンランド人の性格が反映される。

本山先生が開示された対話としての共感的世界はとても豊かなものでした。

福精連理事　辻田　雄一

高森先生のスペシャル講演会

家族会のぞみ会では、9月10日（土）・11日（日）の2日間、高森信子先生の研修会を行いました。

1日目は、八女作業所の利用者さん向けに「生きているだけで立派です」というテーマでお話をしていただきました。歌に合わせた手話を覚えてみんなで合唱し、楽しく賑やかに始まり、最後は、SSTについて学び、病院での受診の場面を設定したロールプレイを行いました。本人（患者）、ドクター、ナース、褒める人とそれぞれの役に分かれ、作業所のスタッフも、進行・まとめ役として参加しました。ほとんどの方が初めてのロールプレイでしたが　段々慣れてくると笑いや拍手も起こり、それぞれの役を一回りして終了しました。機会があれば、今後いろいろな場面を設定して、作業所でもSSTをやってみようと思います。

2日目の午前中は、家族・支援者を対象に、約60名の方にご参加いただきました。先生の長年の経験から次々に話題は広がり、事例を交えながらのお話でした。参加された方からは、自分本位の考えを押しつけていたことに気づかされた、寄り添う気持ちが足りなかったと反省したとの感想の一方で、自分自身の心の疲れがとれた、子どもの将来に希望がわいてきた、明日から頑張れる力をもらったとおっしゃる方もあり、まさに家族と支援者を元気にしてくれる先生の優しさと情熱が伝わるお話だったと思います。

午後は、家族の2名による体験発表とお困りごと相談でした。時間の都合で、全ての方の相談に答えていただくことはできませんでしたが、お困りごとを抱えたご家族の方には、今回の先生のお話を参考に家族会で引き続き対応していきたいと思います。

八女作業所　松山恭子

福岡ブロック合同スポーツ大会

福岡県の委託事業である「第24回福岡ブロック合同スポーツ大会」が、9月14日（水）福岡市障がい者スポーツセンターで開催されました。当日は、9事業所、12チームから、当事者93名、ボランティア23名を含む、総勢106名の参加がありました。

競技種目は大会初となるボッチャを行いました。初めての競技でしたが、参加しやすい競技ということもあり、老若男女問わず多くの方たちが競技や交流を楽しまれました。

今大会は三年ぶりの開催でコロナ過の中、本年度の開催も直前まで慎重に検討を重ねての開催となりましたが、選手やボランティアの皆さんのコロナ対策へのご協力もあり、無事大会を終えることができました。

大会は皆さん練習を重ね、初めての競技とは思えないほどにどの試合も手に汗握る熱戦が繰り広げられていました。各チーム応援にも熱が入り、ポイントを取るたびに拍手が起こり、大いに盛り上がりました。

大会結果は、優勝「グループホーム　ゆるり」、準優勝は「つばめ　Aチーム」、3位「つばめ　Bチーム」となりました。

今回の合同スポーツ大会は、来賓の「福岡県人づくり・県民生活部スポーツ局スポーツ振興課　主任主事　藤野様」、大会の運営指導・協力をして頂いた「福岡市障がい者スポーツセンター指導員さん」、審判をして頂いた「福岡市スポーツ推進委員協議会の皆様」、看護師さん、ボランティアの皆様のご協力があり、無事終了することができました。誠にありがとうございました。

地域活動支援センターピアひがし
センター長　犬束　良太郎